

アピール

本日、「北方領土の日」にあたり、私たちは我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島、すなわち北方四島の早期返還実現を目指し「平成 22(2010)年北方領土返還要求全国大会」を開催しました。

本年は、北方四島が不法に占領され 65 年、北方領土の日が制定され 29 年目を迎えました。これ以上歳月をかけることは断じて許すわけにはいきません。

昨今、ロシア政府は、この問題の解決に独創的アプローチで取り組むと言いながらも、問題解決に向けた交渉は一向に好転の兆しが表れません。こうしたことは日本国民の対露感情に良い影響を及ぼすものではありません。

本大会では、北方四島が速やかに我が国に返還され、日露両国間に平和条約を締結し、真の信頼友好関係が築かれることを求め、政・官・民が一体となり国内外に向け幅広い返還要求運動を展開し、現政権においては領土問題解決に向けた交渉を加速するなど、意思統一が確認されました。

私たちは、一刻も早い北方四島の返還実現を目指し、次のとおり決意を表明します。

記

- 一. 私たちは、必ずや北方四島を私たちの手に取り戻します。
- 一. 私たちは、地域・職場・学校・家庭など、あらゆる場で啓発活動を行います。
- 一. 私たちは、全国の仲間との連携をさらに深めるとともに、署名活動をより一層推進します。
- 一. 私たちは、「北方領土返還・四島交流促進議員連盟」と連携し、返還実現に向け政・官・民のさらなる団結を深めます。
- 一. 私たちは、北方四島ビザなし交流など、あらゆる機会を活かし、ロシア国民に北方四島の返還こそが我が国とロシアとの真の友好と信頼関係を築き、ひいては世界の平和に寄与するものであることを強く訴えます。
- 一. 私たちは、択捉島の紗那に残存する日本の建物保存に取り組みます。
- 一. 私たちは、北方四島ビザなし交流の拡大を視野に、ビザなし交流などに使用する船舶の建造が着実に推進されるよう取り組みます。

平成 22(2010)年 2 月 7 日 北方領土の日
平成 22 年北方領土返還要求全国大会